



狮子舞

狮子舞是狮子在笛子和太鼓的伴奏下起舞的一种舞蹈，在日本各地的传统仪式上都会上演。

熊本市中央区新町の狮子舞据传已有400年的历史，是藤崎八幡宫例大祭的一大看点。据说如果被舞蹈中的狮子咬住头部就会消除厄运，每到这时小孩子都会被吓得大哭，看到这场面总会让人露出善意的微笑。



能乐

能乐是具有日本代表性的舞台艺术之一，被指定为国家重要非物质文化遗产。2008年入选为联合国教科文组织非物质文化遗产名录。能乐文化在熊本自古以来颇为兴盛，现在还不断涌现出很多表演者。

能楽

能楽とは日本の代表的な舞台芸術の一つで、国の重要無形文化財に指定され、2008年にはユネスコの無形文化遺産に登録されました。熊本でも古くから盛んで、現在も多くの役者を生み出しています。

獅子舞

獅子舞とは笛と太鼓の音色に合わせて獅子が舞う日本各地にあるお祭りです。熊本市中央区にある新町の獅子舞は400年の歴史を持つと伝わっており、藤崎八幡宮例大祭の見所の一つです。獅子舞に頭をかまれると厄払いになると言われており、小さな子供は怖がって泣いてしまうという微笑ましい光景も見ることができます。

MAP/P26 ⑤

流镝马 (Yabusame)

流镝马是一种在奔驰的马背上射箭的传统技术，也是仪式的名称。

射箭人的飒爽英姿和马儿奔跑的震撼场面，让观众兴奋不已，欢呼声此起彼伏。您可在出水神社春季和秋季举行的大型祭典上观看到这一场景。



やぶさめ

流镝馬

流镝馬とは走る馬の上からの矢を射る伝統的な技術や儀式のことです。その勇ましい姿と馬が走り抜ける迫力に観客たちは興奮し歓声が上がります。出水神社の春と秋に催される大祭でみるすることができます。

MAP/P26 ①

神乐

神乐是日本神道中用来献给神灵的歌曲和舞蹈，为日本流传至今的传统文化。

在熊本全县的各个地区，多达200个地方有神乐的存在。

神楽

神楽とは日本神道において神様に奉納する歌や踊りのことで日本に古来から伝わる文化です。熊本では県全域の様々な地域で200もの神楽が存在しています。



中江岩戸神楽 地点:中江神楽殿
定期公演:4~11月 ※10月除外 毎月第1个周日

中江岩戸神楽 場所:中江神楽殿
定期公演:4~11月 ※10月除く 毎月第1日曜日



MAP/P25 ⑥



熊本的工艺

熊本县自然资源得天独厚，因此金属、木制、陶瓷器、染色、纸制、竹制、乡土玩具以及其他日式乐器等各种传统工艺遍地开花。

无论是海洋生活，还是山中生活，亦或是举行祭典的日子，工艺品都与人们的各种生活方式紧密相连，在职人技艺和智慧的千锤百炼下，一步步地走向现代。

以肥后象嵌为首，包括山鹿灯笼、小代烧、天草陶瓷器在内的四种工艺品被国家指定为“传统工艺品”，受到日本国内外的广泛关注。

下面就请领略蕴藏着熊本自豪感与情怀的工艺品的魅力吧。

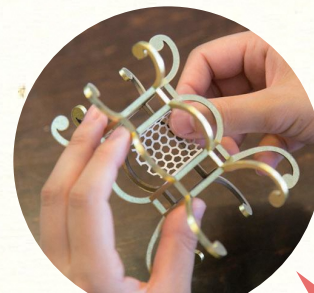
熊本の工芸

自然と素材に恵まれた熊本県では、金工品、木工品、陶磁器、染色品、紙工品、竹工品、郷土玩具、その他楽器など、さまざまな伝統工芸が各地で生まれました。海のある暮らし、山の中での暮らし、祭りのある暮らし、人々のあらゆる暮らしに密接に結びついて、職人の技や知恵は洗練され、数々の工芸品が現代まで育まれてきました。肥後象嵌をはじめとする山鹿灯笼、小代焼、天草陶磁器の4種の工芸品は、国の指定の『伝統的工芸品』に認定され、国内外から多くの注目を集めています。熊本の誇りと想いが宿った工芸品を是非ご覧ください。



山鹿灯笼

山鹿灯笼とは木や釘を使わず、和紙と糊だけで作られた灯笼のことです。各パーツは中が空洞になっていて、驚くほど軽い作りです。毎年8月に開催される「山鹿灯笼まつり」では、頭に金灯笼を掲げた女性が踊る「千人踊り」で幻想的な光景を見ることができます。



可参观山鹿灯笼制作过程，也可亲身体验制作！
山鹿灯笼民芸馆 *需要预约

山鹿灯笼の見学と制作体験もできます！
山鹿灯笼民芸館 ※要予約



山鹿灯笼

山鹿灯笼指的是不使用木材和钉子，只用和纸与浆糊制作而成的灯笼。

各个零件都是中空的，非常轻巧，着实让人惊叹。在每年8月份举行的“山鹿灯笼祭”上，头戴金色灯笼的女性共同创造的“千人群舞”充满梦幻色彩，您可一睹其中的风采。



MAP/P25 7



肥後象嵌

肥後象嵌とは熊本に伝わる金工品のことで、その歴史は古く17世紀より作られており、銃身や刀の鐔の装飾を施したことが始まりと言われています。その造形の美は武士の文化を色濃く反映しており深い黒地に派手さを抑えた金銀の装飾が施され、品格と重厚感を感じさせるものとなっています。



体験制作肥後象嵌首飾！
職人亲自为您指导。
肥後象嵌“光助”
*需要预约

肥後象嵌 (MAP/P26 ⑧)

肥後象嵌指的是流传到熊本的金属工艺品。其制作历史可追溯到17世纪，据说是从装饰枪身和刀护手开始的。

其造型之美强烈地体现了武士文化，漆黑的底色上装饰着低调的金银奢华，让人感叹格调的高雅及历史的厚重。



肥後象嵌アクセサリ作り体験！
職人さんが直接指導してくれます。
肥後象嵌「光助」※要予約



雉子车、花手箱

据说约800年多前，战败后逃到人吉地区的平家人为追忆都城生活而制作这些手工艺品。

描绘色彩鲜艳的山茶花的花手箱是赠送给女孩子的佳品，而木制车身上镶嵌车轮的雉子车是祝愿男孩子茁壮成长成长的吉祥物，二者作为人吉的传统工艺品至今还深受民众喜爱。



きじ馬・花手箱

およそ800年以上前、戦に破れ人吉に逃れてきた平家の人々が都の暮らしを懐かしみ作ったのが始まりと言われています。鮮やかな椿を描いた花手箱は女の子への贈り物に、木製の胴体に車輪がついたきじ馬は男の子の健やかな成長を願う縁起物として今もなお人吉の伝統工芸品として親しまれています。

(MAP/P26 ⑧)



小代焼

小代焼指的是熊本北部烧制的陶器，以朴素而有生命力的风格著称。

具备高度的艺术性，适合装饰菜肴或花朵，更能凸显出被衬托物的魅力，所以作为日常生活中的器皿而深入百姓生活。

しょうだいやき

小代焼

小代焼とは、熊本の北部で焼かれている陶器で、素朴で力強い作風が特徴です。高い芸術性を持ち、料理や花を飾っても、素材の良さを引き立てるため、普段使いの器としても親しまれています。

(MAP/P26 ⑧)



天草陶磁器

天草地区盛产优质的陶石和陶土，自古以来这里盛行烧制陶磁器。

玲珑剔透般优美的白瓷，件件都彰显个性风格的陶器，种类多样，每个窑厂也风格迥异，给人带来赏心悦目的美之享受。

(MAP/P26 ⑧)



天草陶磁器

良質な陶石や陶土が産出される天草では、古くから陶磁器が盛んに焼かれてきました。透き通る様に白く美しい磁器や、その一つ一つに個性的な風合いが浮かび上がる陶器。その多様性と窯元ごとに異なるバラエティ豊かな作風は見る人を楽しませてくれます。

可通过“手捏”或使用“陶轮”体验陶艺。
天草文化交流馆 *需要预约

「手びねり」や「ろくろ」を使った陶芸体験ができます。
天草文化交流館 ※要予約



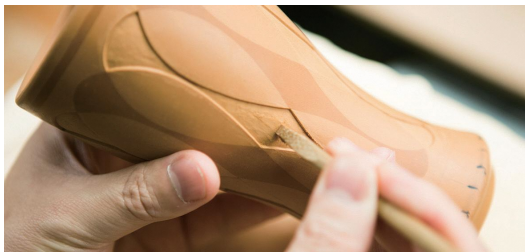


HP



FB

熊本手工艺研究所 玩转节气，美好生活



近距离地感受 四季流转的熊本

该机构开展活动促进人们了解熊本手工艺（传统工艺、传统艺能、饮食等）的魅力，并运用到日常生活中，旨在构建更加美好的生活。官方网站和脸书发布有最新消息。

想要近距离感受熊本四季流转的传统文化，敬请浏览相关信息。

もっと身近に感じる 四季折々の熊本

熊本の手仕事（伝統工芸、伝統芸能、食等）の素晴らしさを知り、日々の暮らしに取り入れることで、人々の生活をより豊かにする取り組みとして、ホームページやフェイスブックで情報を発信しています。熊本の四季折々の伝統文化を身近に感じたい方は、ぜひチェックしてみてください。

『くまもと手しごと研究所』では一緒に熊本の魅力を発掘・発信していただける**キュレーターを募集**しています！
お問い合わせ：熊本県 文化企画・世界遺産推進課 TEL 096-333-2154

日本遺産とは文化庁が創設した認定制度で、熊本県内では人吉球磨地域と菊池川流域が日本の伝統・文化を語るストーリーとして認定されました。

日本遺産は文化庁創設の認定制度。熊本県内人吉球磨地区と菊池川流域所讲述的日本传统和文化故事被认定为日本遗产。



MAP/P25 9
青井阿蘇神社とおくんち祭



MAP/P25 10
城山観音堂の十一面観音菩薩像
撮影
スラップスティック・フォト
濱田 善幸

相良700年的历史 流淌在山间地区的故事

相良家是700年来统治熊本县南部山间地带——人吉地区的领主。

相良氏族积极建造雄伟的寺院神社，为民众打造心灵的寄托，同时重视保护古代文化，酿造烧酒，丰富百姓娱乐生活，深受人们的信赖。

将保守与进取双方的精神升华到文化高度，加以集中体现并悉心保留，能够做到这一点的，恐怕这片土地绝无仅有。日本著名的小说家司马辽太郎甚至还不吝夸赞，描述这里是“日本最美好的世外桃源”。

城山観音堂の十一面観音菩薩像

相良700年の歴史 山間の地に息づく物語

熊本県南部の山間の地、人吉を700年にも渡って領主として統治した相良家。相良氏は民衆の心のよりどころとなる立派な寺社を積極的につくり、同時に古くからの文化、焼酎造りや庶民の娯楽も大切にすることで人々の信頼を得ました。保守と進取、双方の精神から昇華された文化の証が集中して現存している地域はほかにありません。有名小説家、司馬遼太郎はこの地を「日本でもっとも豊かな隠れ里」と記しているほどです。



MAP/P25 11
番所地区の梯田



MAP/P25 12
菊池溪谷

追溯稻米种植文化 菊池川流域2000年的记忆

菊池川源自阿苏的外轮山，流入有明海。

河川流域长度71km，拥有长达2000年的稻米种植历史，巨古的河流中孕育出的文化随处可见，从中可窥见日本稻米种植的缩影。

平原地区8世纪时的水田犹存，山间地带古时的“原井出（全长11km的灌溉水路）”至今还在发挥作用。海边还有加藤清正填海造陆时遗留下来的建筑。

米作りの文化をたどる 菊池川流域2000年の記憶

阿蘇の外輪山を源に有明海へ注ぐ菊池川。延長71kmのこの河川の流域で2000年にも及ぶ米作りの歴史と、その中で生まれた文化を各地で見ることができ、日本の米作りの縮図を体感できます。平地には8世紀頃に整備された水田が残り、山間部に残る「原井出（全長11kmの用水路）」は今も現役で使用されています。また海辺には加藤清正によって始められて以来の干拓の遺構が残ります。